

5 - 8 富士川・駿河湾地方における地殻変動観測（その24）

Crustal Movement Observation in the Fuji River and the Suruga Bay Area (Part24)

東京大学地震研究所
地震地殻変動観測センター
富士川地殻変動観測所
Fujigawa Crustal Movmet Observatory
Earthquake Observation Center
Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

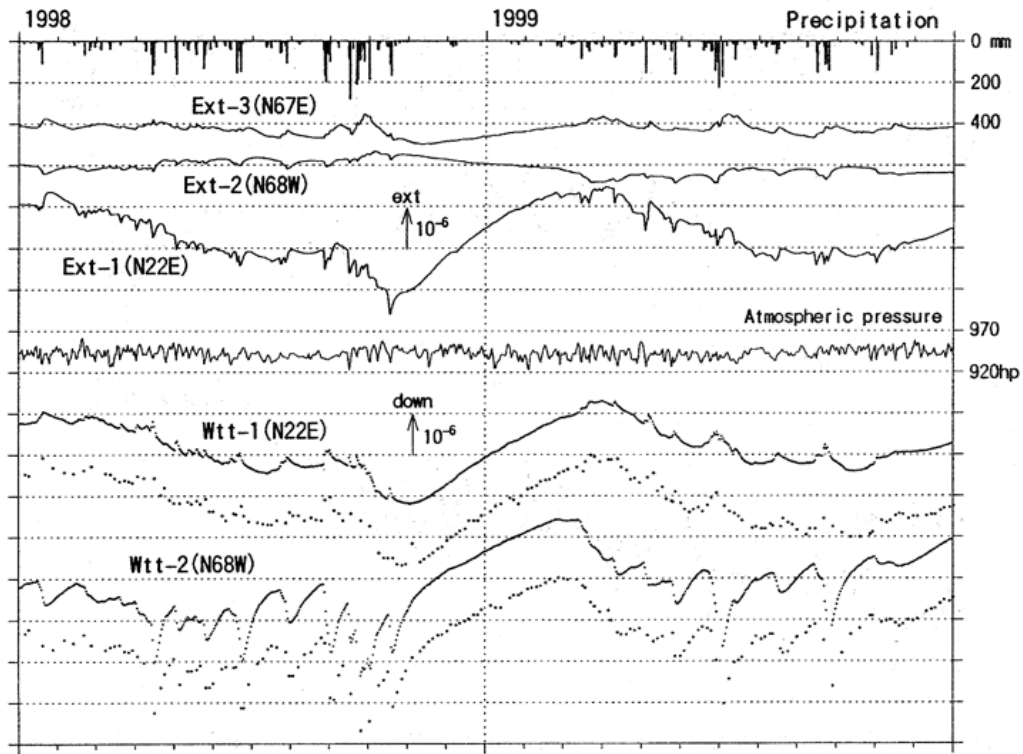
前報¹⁾に引き続き富士川観測所における1998年から1999年の地殻変動観測結果について報告する。第1図は水晶管伸縮計(Ext), フロート型水管傾斜計(Wtt), 気圧の日平均値, 読取型水管傾斜計の読取值と, 日雨量を示す。記録の随所に降雨の影響が見られるが特に大きな変動は見うけられない。1999年5月7日に観側坑から西約7kmを震源とするM=5.3の地震が起き最大余震M=4.3を含め5月31までに198個の震源決定されたが, この地震に伴う変化は観測されていない(第6図参照)。

第2図に1970年7月から1999年までの水晶管伸縮計の日平均値と日雨量をプロットした。1998年末から1999年初旬にかけての変動は1998年後半の降雨の影響と見られる。

第3図は読取型水管傾斜計の読取值と日雨量を, 第4図には読取型水管傾斜計の月平均値とその12ヶ月移動平均値と月別雨量を, 第5図には移動平均値に基づく傾動ベクトル図を示す。1997年8月より南西方向への大きな傾動を見せていたが, 1998年8月頃より東方向の傾動に変わって来た。

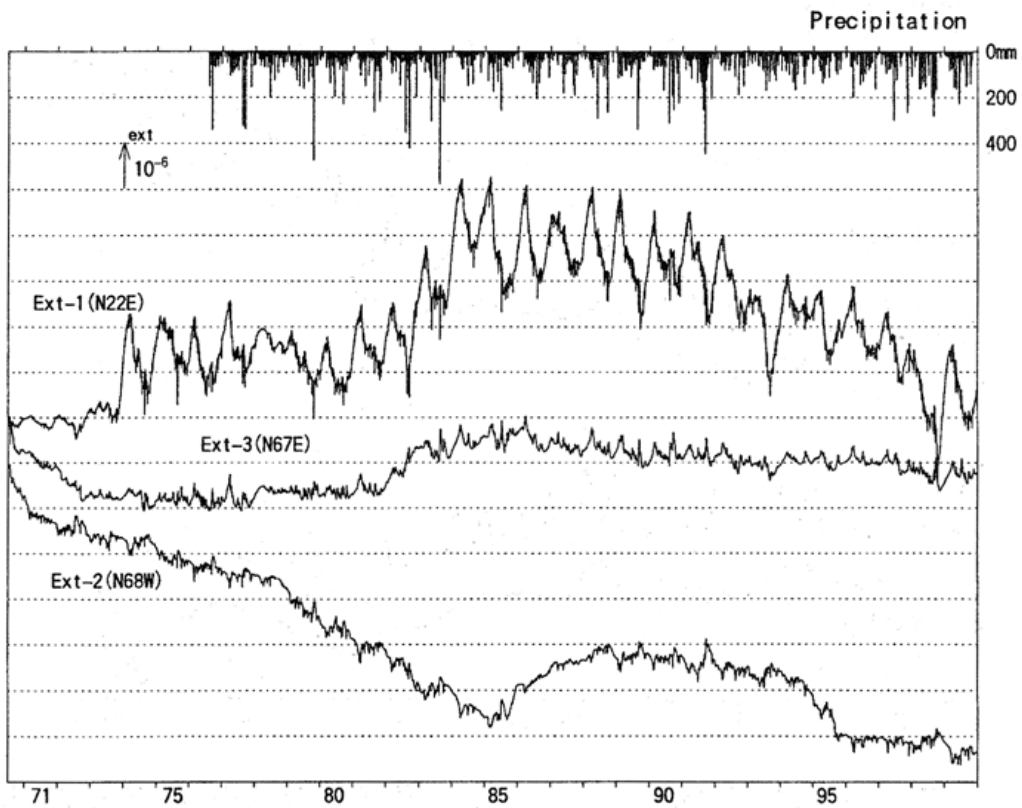
参考文献

- 1) 東京大学地震研究所 地震地殻変動観測センター 富士川地殻変動観測所: 富士川・駿河湾地方における地殻変動観測(その23), 連絡会報62(1999年), 303-308.



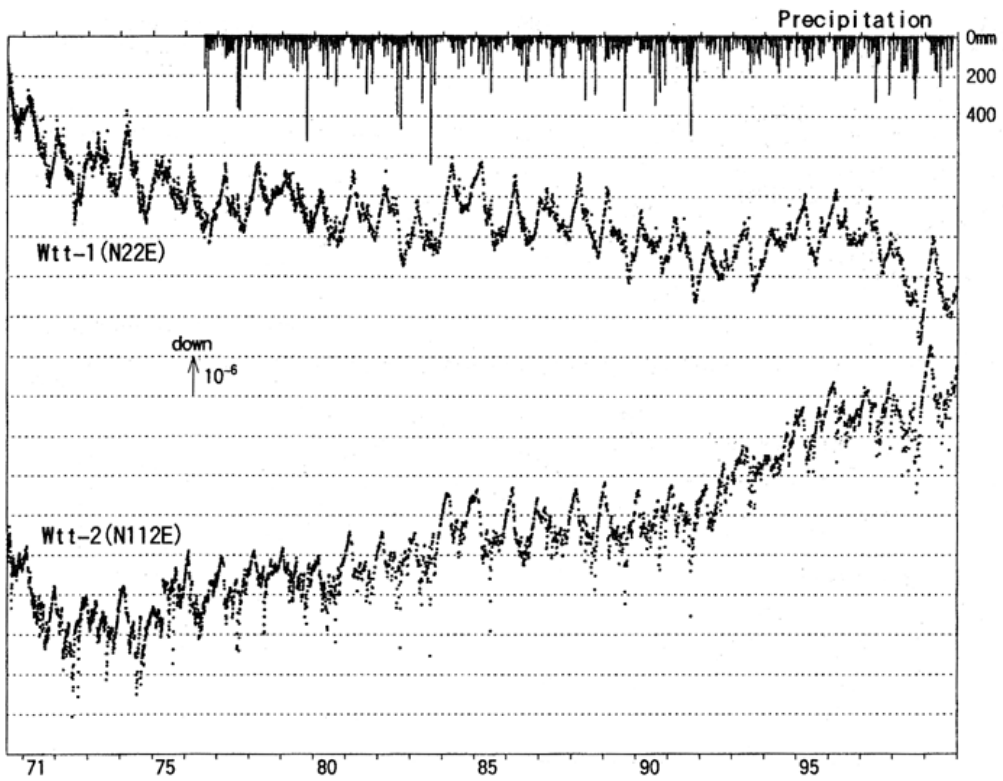
第 1 図 富士川観測所における水晶管伸縮計・水管傾斜計（実線=フロート型・黒丸=読取り型）記録、気圧の日平均記録および日降雨量（1998年，1999年）

Fig.1 The earth's strain, tilt (solid lines=float type WTT, dots=reading type WTT), atmospheric pressure (daily mean) and daily precipitation at the Fujigawa observatory in 1998-1999.

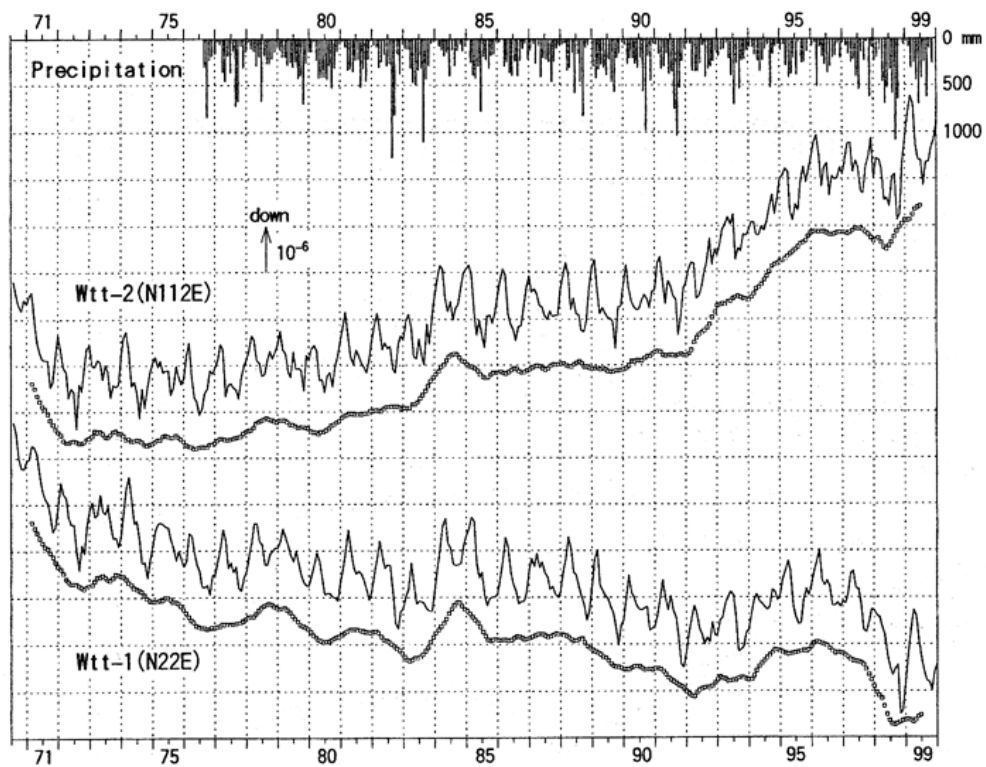


第 2 図 富士川観測所における水晶管伸縮計により観測された歪の日平均値の変化および日雨量

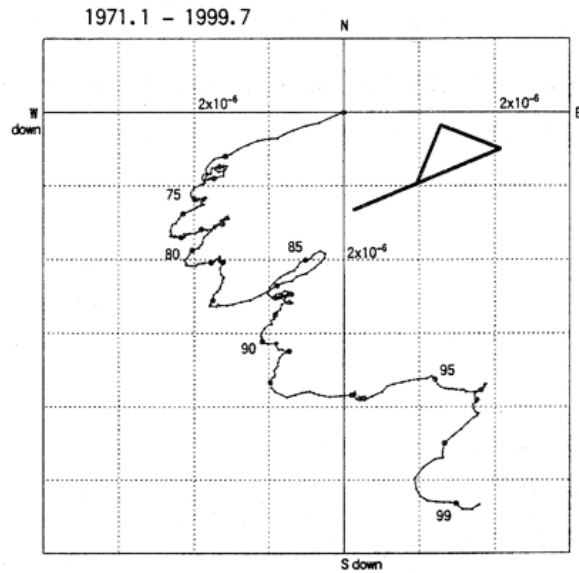
Fig.2 Daily mean strain data observed by extensometers and precipitation data.



第 3 図 富士川観測所における読取型水管傾斜計により観測された傾斜変化の読取値および日雨量
 Fig.3 Daily mean tilt data observed water-tube tiltmeters and daily precipitation data.

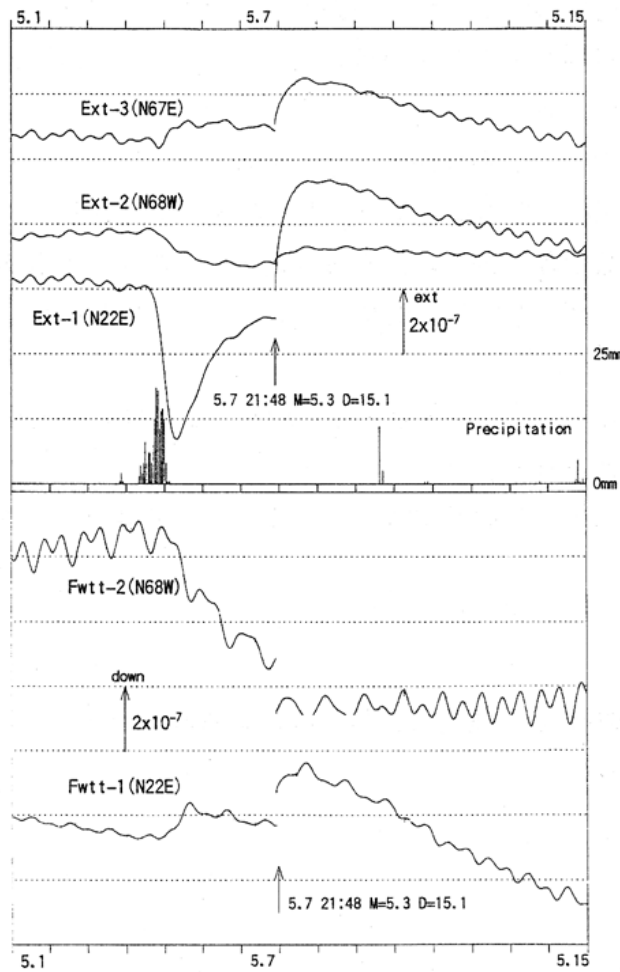


第 4 図 読取型水管傾斜計による累積傾斜変化 (=12 ヶ月移動平均値・実線=月平均値) および月別雨量
 Fig.4 Cumulative tilt change by reading type WTT (=12 month's running mean, solid lines=monthly mean).



第 5 図 読取型水管傾斜計による永年傾動ベクトル(12 ヶ月移動平均値)。図中の三角は観測坑の形と方向を示す。

Fig.5 Vectorial presentation of filtersd secular change in the ground tilt.Inserted trianle indicated the vault shape direction.



第 6 図 1999 年 5 月 7 日前後の地殻変動．上から伸縮計 3 成分，時間雨量，水管傾斜計 2 成分．

Fig.6 Strain and tilt change before and after May 7, 1999.